



福岡県労働者共済生活協同組合の60周年を記念した社会貢献活動として被災地復興支援活動の第4回目の活動内容についてお知らせいたします。

実施日：2023年8月19日（土）、天気：晴れ、気温：最高気温33.7℃、参加者：4名（こくみん共済 coop 福岡推進本部、全労済労働組合九州支部福岡分会、Camp（重松農園）重松さん）

活動内容：今回は、大学の夏休みとも重なり、参加者が少ない中での作業となりましたが、サツマイモの「つる返し」、雑草除去、ニンジンの育成不足による再度の種まきを行いました。暑い中大変な作業でしたが、サツマイモは大きく育っていて今後は楽しみにになりました。

当日の様子

～サツマイモの「つる返し」&ニンジンの種まき～

サツマイモの「つる返し」：つる返しをすることで、不定根に養分が分散されるのを防ぎ、イモをしっかり太らせることができます。

Before



サツマイモのつるが伸びて畝が分からない状態でした！！

作業中



伸びたつるを土から引きはがす&雑草を抜き取る作業を行いました。

After



作業後は、畝がしっかりとわかるくらいきれいになりました★

ニンジンの種まき：畝に三本の筋を引き、その上に種を撒きます。上から土をかぶせてぎゅっと押しつけていきます！最後水を撒いていきます。



青い種が人参の種です！



当日は炎天下の中での作業だったため、参加者は、ファン付きウェアの着用など、熱中症対策を講じた上で作業をしました！
農家の方たちは、暑くなる前の朝一に作業をされて、日が落ちる夕方頃に作業を再開されるとのこと。様々な工夫を凝らして対応されているんだな～と勉強になりました！

ニンジンの栽培方法・・・

第3回作業時（7月19日）にニンジンの種まきを実施したのですが、連日の猛暑でうまく発芽しませんでした。

ニンジンが発芽が難しい野菜で、発芽まで土を乾燥させないように細心の注意を払い、苗が小さいうちは雑草をとり、間引きもしっかりして大きく育てる必要があります。

そのため、今回は再チャレンジということで、再度、畝の雑草の除去から種まきを行いました。

次は発芽してくれるようたっぷり水やりを行いました。



次回の活動について

今回は、ジャガイモの畝づくり・マルチ張り、種イモの植え付け作業です！！

次回もニンジンが発芽していない場合は、再度ニンジンの種まきを行います。

いつもおいしく食べている野菜も、作り手の方たちの苦勞の元にてできていることを今回の作業で痛感しました。

まだまだ猛暑が続きますが、熱中症対策を講じて、11月の収穫に向けて引き続き作業を行っていきます！！



次回は9月9日（土）です！